

速報のため、数値等は今後変わることがあります

# 平成29年6月末から 8月にかけての大雨による 北陸地方整備局管内 出水状況と治水事業効果



【黒部川水系黒部川】宇奈月ダムの状況  
(富山県黒部市)



【阿賀野川水系早出川】善願水位観測所の状況  
(新潟県五泉市)



【国府川水系小倉川】畑野地先の状況  
(新潟県佐渡市)



【梯川水系梯川】鍋谷川合流点の状況  
(石川県小松市)

国土交通省 北陸地方整備局 河川部

## 【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川計画課  
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1  
TEL 025-280-8880(代)



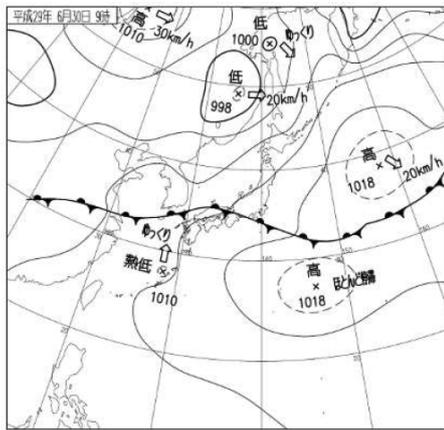
( 1 ) 平成29年6月30日～7月5日  
の大雨

# 1. 気象概要

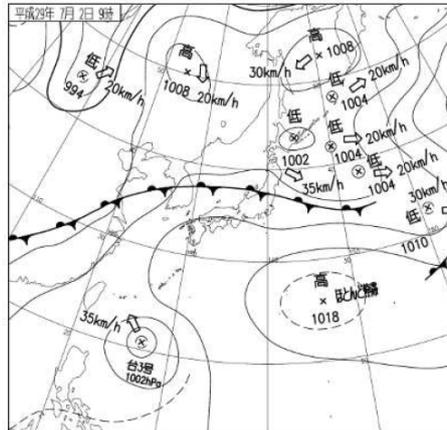
6月30日から7月4日にかけて、梅雨前線が北陸地方や東北地方付近に停滞し、その後、5日にかけて東海道沖へ南下した。台風第3号が接近する前から、この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、梅雨前線の活動が活発となった。

このため、6月30日から7月5日にかけて北陸地方や長野県を中心に大雨となり、累計雨量で、**富山県黒部市の猫又**で約683mm、**新潟県魚沼市の堀之内**で約356mm、**新潟県東蒲原郡の船窪山**で約421mmの降雨を観測した。

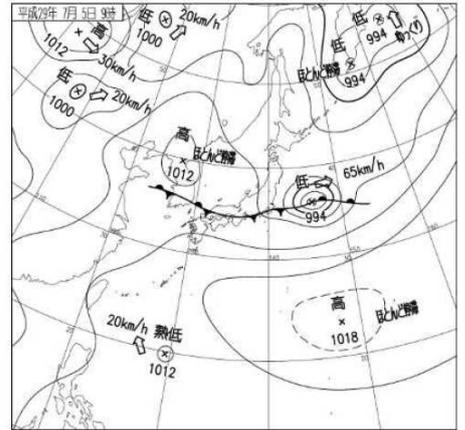
## 天気図



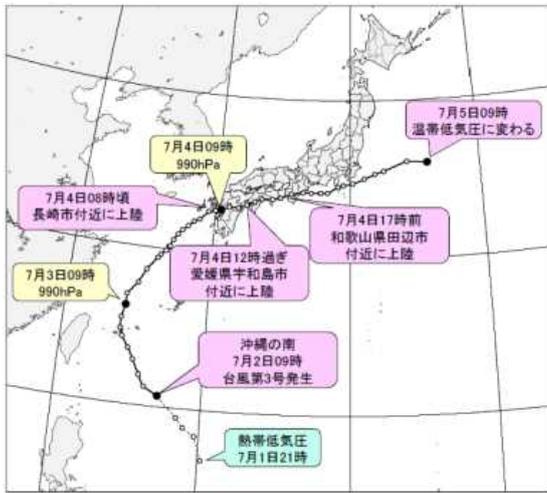
6月30日9時



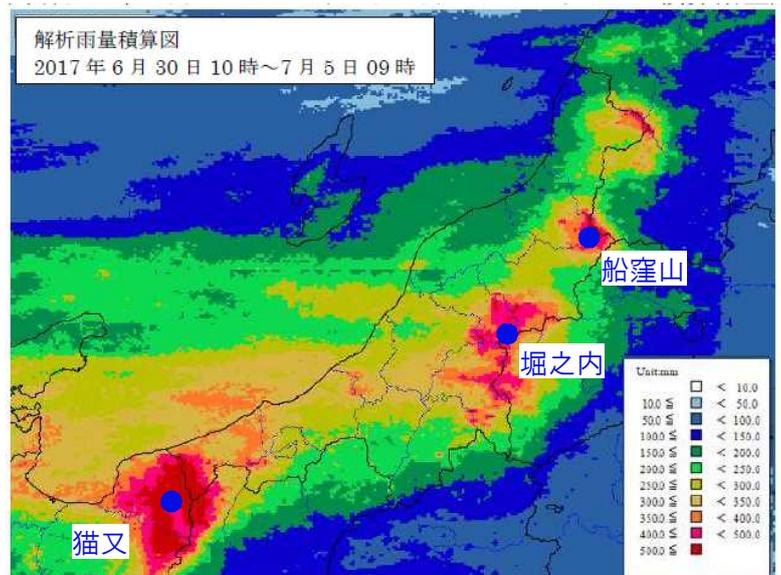
7月2日9時



7月5日9時

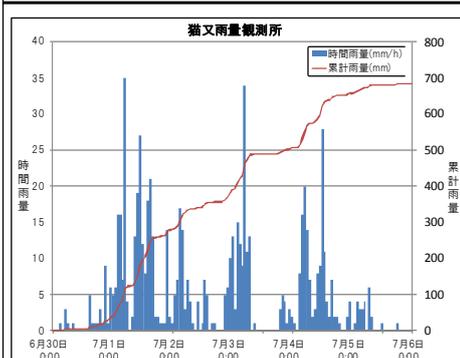


台風3号経路図

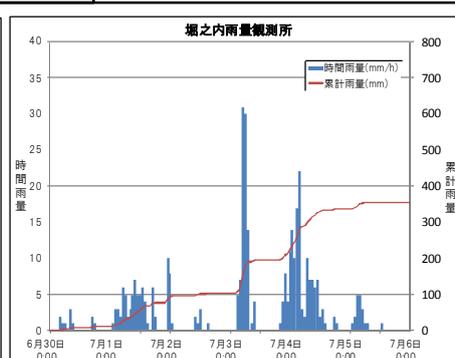


H29年6月30日10時～7月5日9時のアメダス総降水量分布図

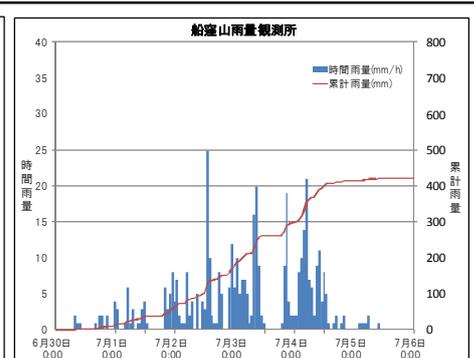
## 累計雨量グラフ(6月30日～7月5日)



猫又雨量観測所  
(黒部川水系黒部川)



堀之内雨量観測所  
(信濃川水系魚野川)



船窪山雨量観測所  
(阿賀野川水系早出川)

## 2. 出水概要

北陸地方整備局管内の国管理河川において、8水系11河川ではん濫注意水位を超えた他、5水系7河川で水防団待機水位を超える出水となった。

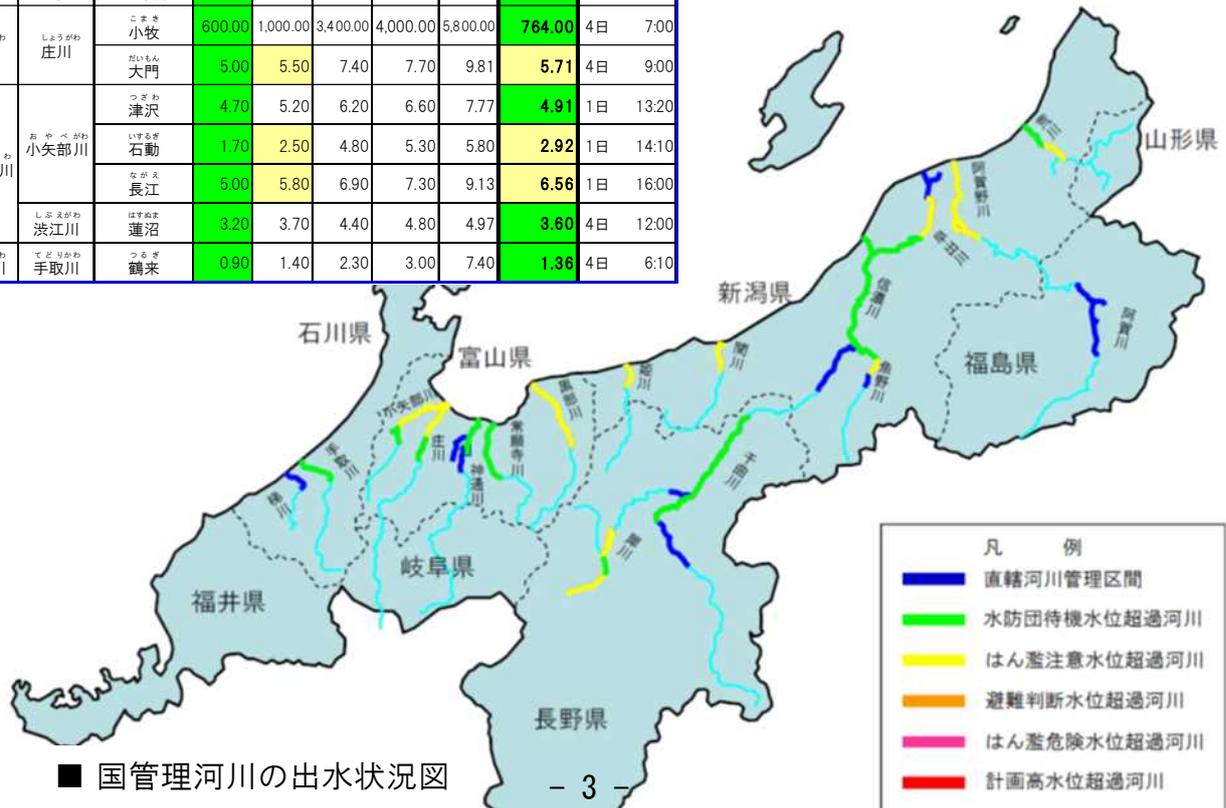
水系名	河川名	観測所名	水防団待機水位	はん濫注意水位(警戒)	避難判断水位	はん濫危険水位	計画高水位	ピーク水位	ピーク日時	
あらかわ 荒川	あらかわ 荒川	かみせき 上関	3.60	4.30	6.60	7.40	8.30	4.34	3日 22:30	
		つづらやま 葛籠山	3.00	3.70	6.40	9.60	7.80	3.65	3日 23:30	
あがのがわ 阿賀野川	あがのがわ 阿賀野川	まおろし 馬下	19.65	20.15	22.00	22.80	24.40	20.52	4日 13:30	
		まんがんに 満願寺	5.80	6.50	8.00	9.00	10.02	7.42	4日 15:00	
		はやでがわ 早出川	善願	12.80	14.00	14.50	15.10	16.13	4日 6:50	
しなのがわ 信濃川	しなのがわ 信濃川下流	おさき 尾崎	8.20	8.70	9.10	10.20	13.20	8.57	3日 13:50	
		あらかち 荒町	8.00	8.50	-	-	12.25	8.50	3日 12:50	
		ほのみよんでん 保明新田	5.20	5.60	6.50	8.20	9.60	6.37	4日 14:30	
		うすしほし 臼井橋	3.10	3.40	-	-	7.08	4.10	4日 15:10	
		しんまかや 新酒屋	2.50	2.80	-	-	5.84	2.83	4日 14:00	
	しなのがわ 信濃川	しなのがわ 信濃川	おさや 小千谷	45.50	46.50	48.50	49.20	49.94	46.20	3日 8:40
			ながおか 長岡	19.00	20.00	23.00	23.80	24.51	19.81	3日 10:30
			おおこうづ 大河津	12.50	13.40	15.60	16.10	16.29	12.54	4日 15:40
	うおのがわ 魚野川	うおのがわ 魚野川	こいで 小出	89.60	90.00	90.80	91.60	92.78	90.44	3日 8:10
			ほりのうら 堀之内	81.50	82.50	83.10	83.70	85.30	82.01	4.00 8:30
ちくまがわ 千曲川	ちくまがわ 千曲川	くいせげ 杭瀬下	0.70	1.60	4.60	5.00	5.42	0.79	4日 4:40	
		たてがはな 立ヶ花	3.00	5.00	9.10	9.60	10.75	3.86	5日 4:10	
さいかわ 犀川	さいかわ 犀川	いねこき 稲核	220.00	300.00	690.00	780.00	1,800.00	307.00	4日 19:00	
		くまくら 熊倉	3.50	4.00	5.80	6.00	7.15	3.65	4日 20:30	
		りくごう 陸郷	2.50	3.30	4.50	4.80	7.47	3.62	4日 21:50	
せきかわ 関川	せきかわ 関川	たかだ 高田	3.18	3.78	5.05	5.80	6.68	4.71	1日 16:00	
ひめかわ 姫川	ひめかわ 姫川	やまもと 山本	-0.27	0.51	1.92	2.28	4.91	0.83	3日 5:40	
くろべがわ 黒部川	くろべがわ 黒部川	あいもと 愛本(流量)	550.00	700.00	1600.00	2,500.00	6,500.00	1,191.13	4日 7:30	
じょうせんじがわ 常願寺川	じょうせんじがわ 常願寺川	だいせんじ 大川寺	4.20	5.10	5.24	6.61	9.82	4.84	4日 6:10	
じんづうがわ 神通川	じんづうがわ 神通川	じんづうおほし 神通大橋	4.50	5.00	7.50	8.00	8.61	4.53	4日 10:20	
じんづうがわ 神通川	じんづうがわ 神通川	くまのぼし 熊野橋	2.00	2.60	3.30	3.90	4.41	2.15	1日 14:00	
しょうがわ 庄川	しょうがわ 庄川	こまき 小牧	600.00	1,000.00	3,400.00	4,000.00	5,800.00	764.00	4日 7:00	
		だいもん 大門	5.00	5.50	7.40	7.70	9.81	5.71	4日 9:00	
おやべがわ 小矢部川	おやべがわ 小矢部川	つぎわ 津沢	4.70	5.20	6.20	6.60	7.77	4.91	1日 13:20	
		いするぎ 石動	1.70	2.50	4.80	5.30	5.80	2.92	1日 14:10	
		ながえ 長江	5.00	5.80	6.90	7.30	9.13	6.56	1日 16:00	
		しんまがわ 澁江川	3.20	3.70	4.40	4.80	4.97	3.60	4日 12:00	
てどりがわ 手取川	てどりがわ 手取川	つるぎ 鶴来	0.90	1.40	2.30	3.00	7.40	1.36	4日 6:10	



信濃川水系犀川の状況



関川水系関川の状況



# 新潟県管理河川における応急復旧の状況

○新潟県では、3水系4河川ではん濫危険水位を超過した他、溢水による冠水被害や施設被害が生じました。

## 能生川水系能生川における復旧状況

- 新潟県糸魚川市にある2級河川能生川(県管理河川)は、平成29年7月1日、大雨による増水により、大王地内の右岸が堤防約100mにわたり洗掘を受け危険な状態となった。これに伴い、能地区等の1,036世帯に避難勧告が発令
- 北陸地方整備局では、県の応急復旧を支援することとし、根固めブロック(備蓄用資材4t/個、343個)を提供、照明車(1台)を派遣
- 応急復旧は被災後速やかに着手され、5日5時に対応完了



堤防洗掘状況(7月1日、上流側より撮影)



堤防洗掘状況(7月1日、下流側より撮影)



応急復旧対応状況(7月3日)



応急復旧対応状況(7月4日)



応急復旧対応状況(7月5日)

※写真は新潟県・糸魚川市より提供

# 宇奈月ダムにより下流河川の水位を低減（富山県 黒部川）

- 宇奈月ダムでは7月4日6時40分に最大流入量約1,370m<sup>3</sup>/sを観測し、約270m<sup>3</sup>/sの水量をダムに貯め込みました。
- この操作により、下流の愛本地先（13.4km地点）では、河川の水位を推定で約0.6m低減させ、宇奈月ダム下流の洪水被害の危険性を軽減しました。

宇奈月ダム流域概要図

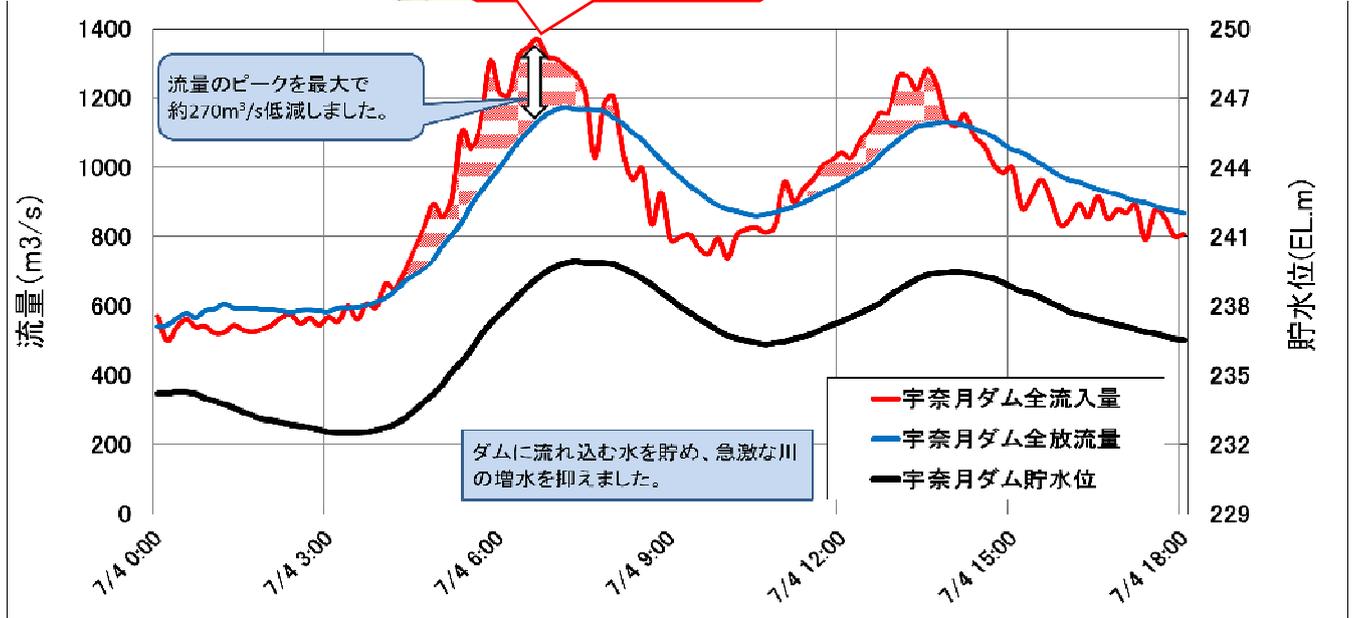


防災操作中の宇奈月ダム

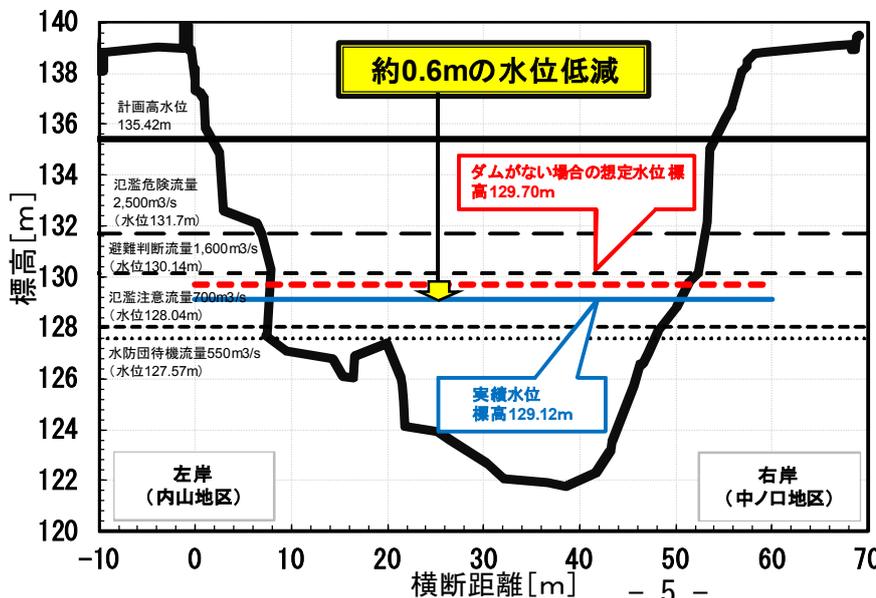


## 【宇奈月ダムの状況】

最大流入量 約 1370m<sup>3</sup>/s



## 【愛本地先での水位低減効果(推定) (河口から13.4km地点)】



愛本水位観測地点付近



※本発表は速報のため、数値は今後変更となる場合があります。  
愛本地先における( )書きの水位については参考値となります。

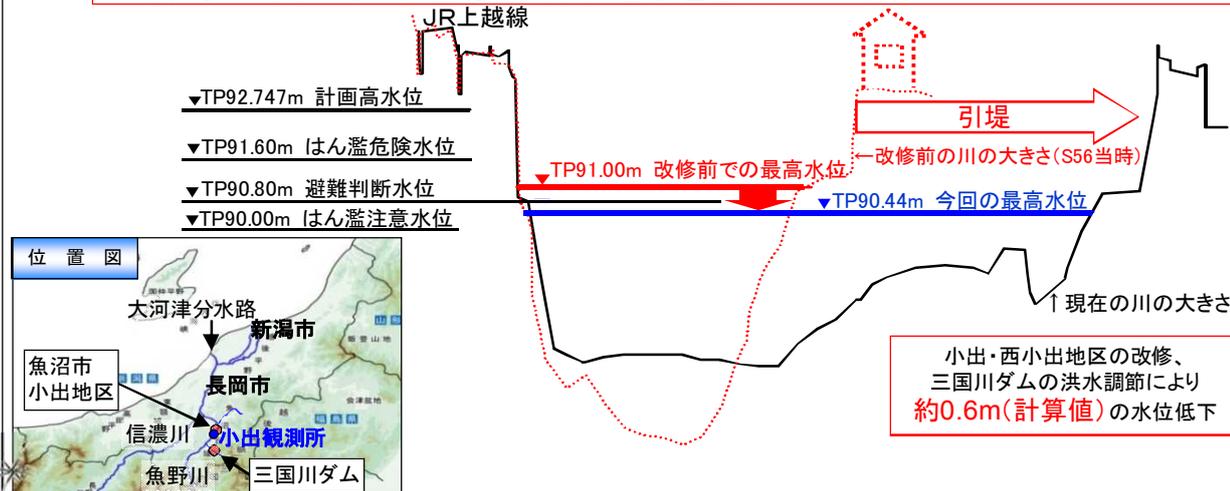
# 小出・西小出地区の河川改修、三国川ダムの洪水調節により水位を低減 (信濃川水系魚野川)

○小出地区の引堤、西小出地区の河道掘削の実施及び三国川ダムの洪水調節により、今回の洪水では、魚野川の小出水位観測所地点(13.75km付近)において約0.6m(計算値)の水位低減効果があり、避難の目安となる避難判断水位を超過しませんでした。

## － 今回の洪水における事業効果(引堤と河道掘削) －

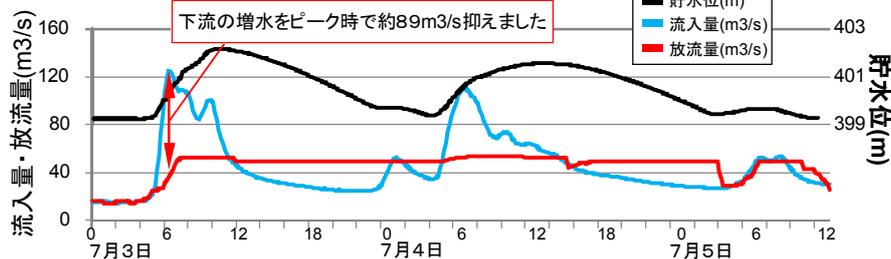
河川の水位【小出水位観測所(信濃川合流点から13.75k)】

河川改修及び洪水調節がない場合、避難判断水位を超過したと考えられる。それらの効果により、避難判断水位を超過をしなかった。

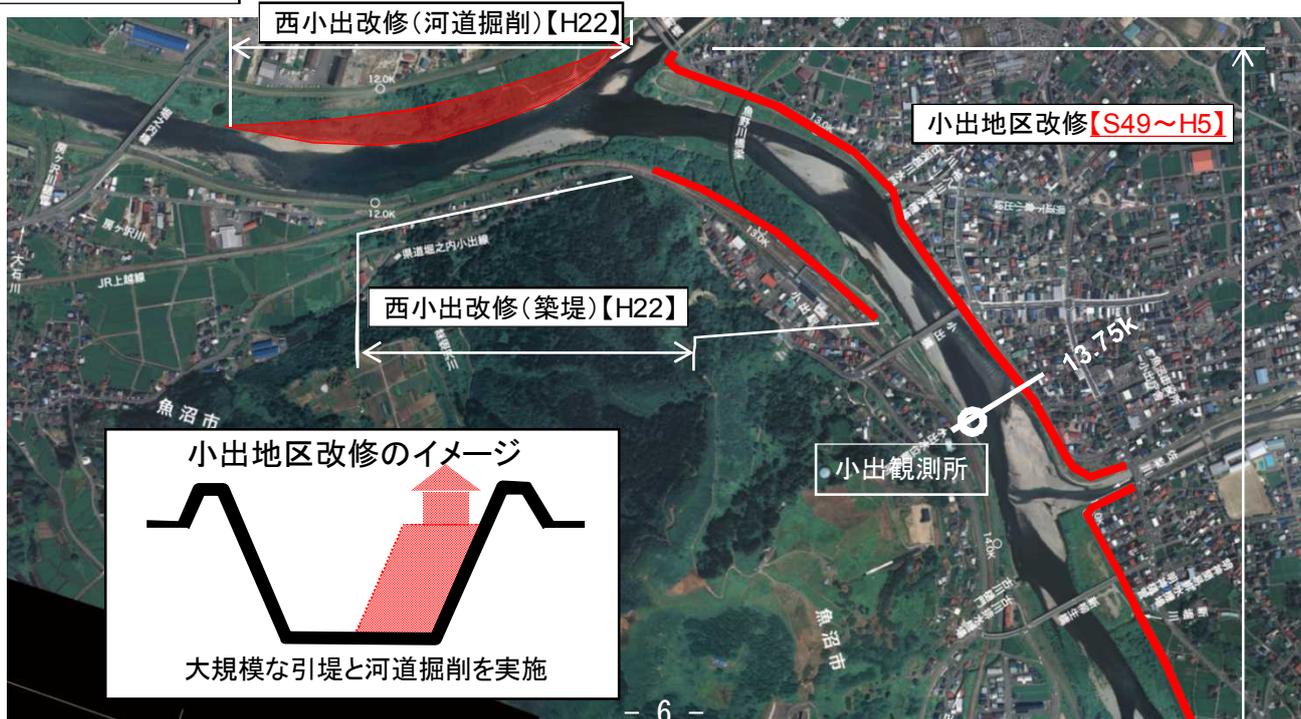


## 【三国川ダム】

三国川ダム貯水量の推移



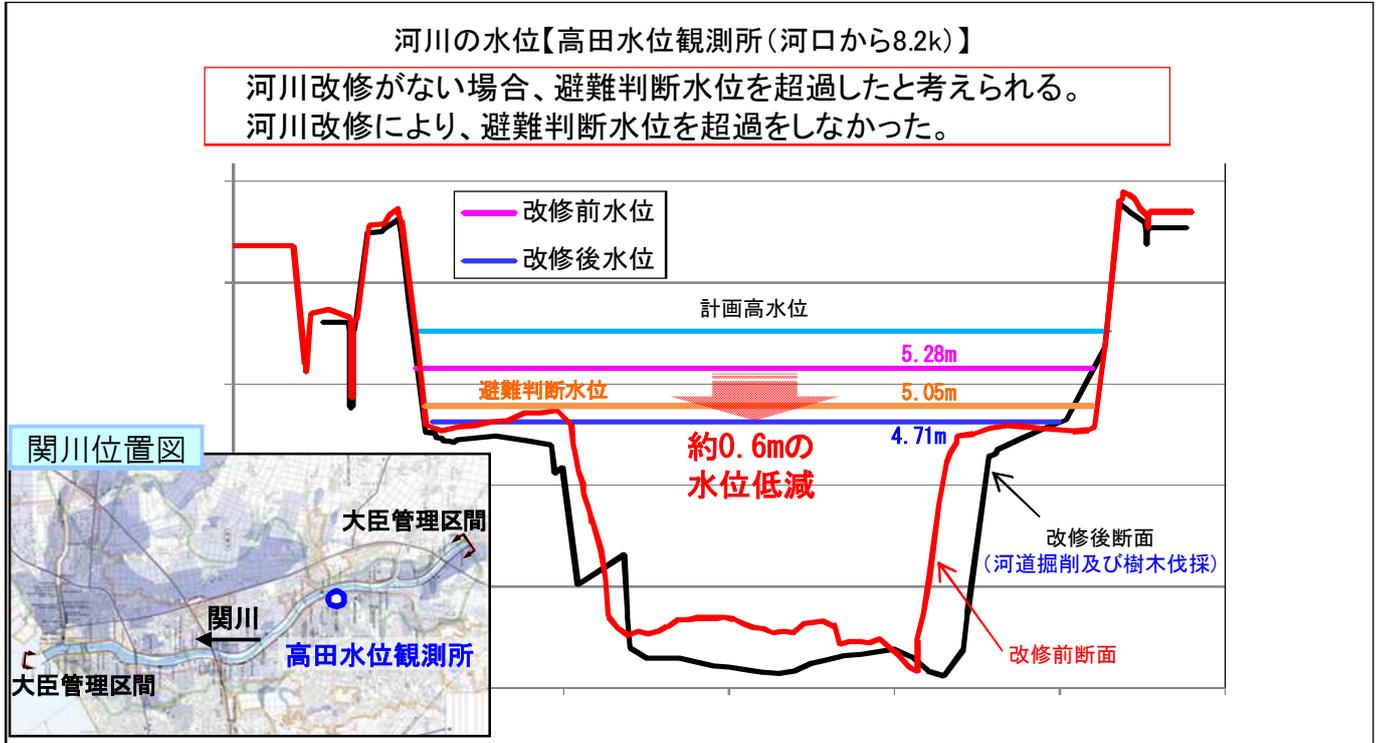
## 【小出・西小出地区】



# 河川改修により水位を低減 (新潟県 関川水系 関川)

- 関川では平成7年7月洪水を受け、直轄及び県管理区間において河川改修を進めてきました。
- 河川改修前の河道と改修後の河道を比較すると今回の洪水では、高田水位観測所地点において約0.6mの水位低減(計算値)が確認され、避難の目安となる避難判断水位を超過しませんでした。

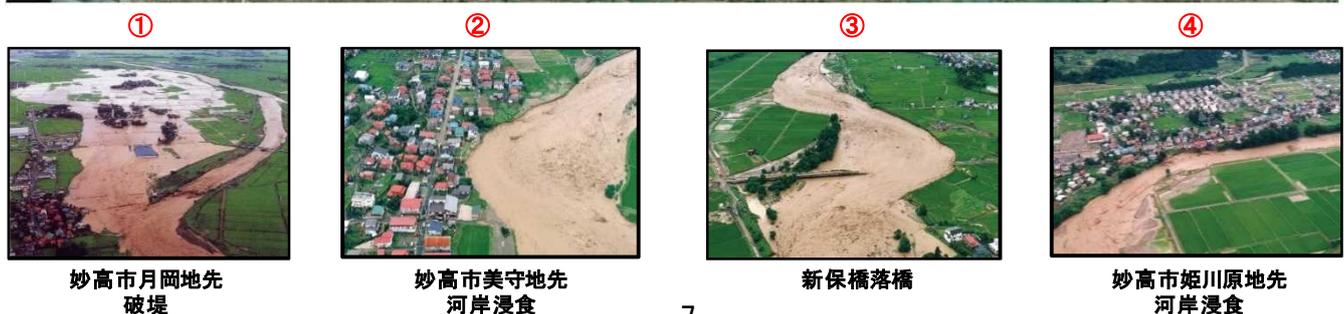
## — 今回の洪水における事業効果 —



## 平成7年7月洪水以降の主な河川整備

梅雨前線の停滞により、平成7年7月11日から12日にかけて、関川・保倉川流域の上越市では総雨量200mm、妙高市(旧新井市)では、総雨量300mmを超える集中豪雨となり、妙高市月岡地区では堤防決壊による住宅地への浸水など甚大な被害が発生しました。

洪水以降、県管理区間では災害復旧助成事業を実施し、国管理区間では、引堤をはじめ河道掘削などの河川整備を進めてきました。



# 土砂災害による被害の防止・軽減を図る砂防事業の効果 (姫川流域 直轄砂防事業)

- 砂防事業は土砂流出に伴う洪水の発生や地すべり、土石流等による土砂災害から私たちの生命や財産を守るため実施されています。
- これまで砂防堰堤等の整備を進めてきた結果、土砂災害に対する安全・安心の確保に貢献しています。

## － 砂防事業の効果事例(姫川水系) －

### <土砂災害リスクが高い地域特性>

- ・ 姫川流域は、「糸魚川－静岡構造線」等に挟まれた、日本の大地溝帯と呼ばれる「フォッサマグナ」に位置し、地質的脆弱性に起因した崩壊地と、降水量も多いことから、過去から大規模な土砂災害が発生。



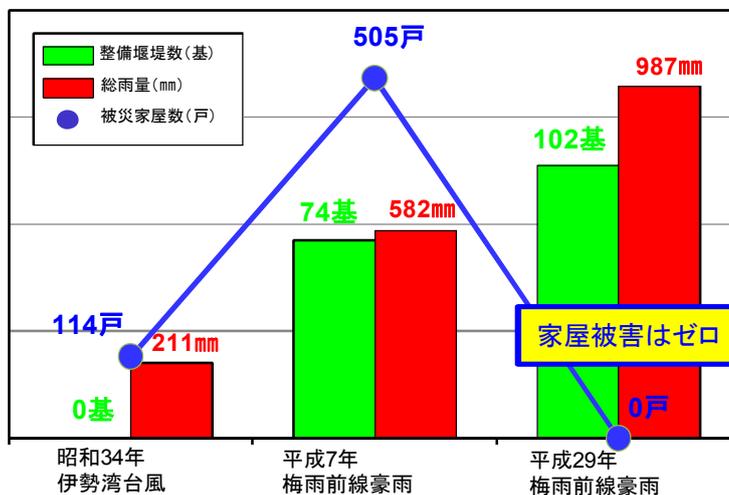
### <直轄事業の契機となった昭和34年豪雨>

- ・ 姫川水系では、昭和34年9月の伊勢湾台風豪雨により白馬村松川等で大規模な土砂災害が発生したことを契機として、昭和37年より直轄砂防事業に着手。



### <過去の豪雨災害との比較からみた砂防事業の効果>

- ・ 今回の大雨により、姫川流域では、総雨量が約1,000mm※を記録。 ※6/29～7/5 猿倉観測所
- ・ この雨量は、姫川流域で大規模な土砂災害をもたらした、**昭和34年豪雨の4.7倍、平成7年豪雨の1.7倍にあたるものであったが、家屋被害は発生しなかった。**
- ・ これまで砂防堰堤等の整備を進めてきた結果、土砂災害に対する安全・安心の確保に貢献。



※1 最大時間雨量  
昭和34年災害 33mm、平成7年災害 61mm、平成29年災害 28mm  
※2 整備砂防堰堤数は直轄施設のみ



平成29年豪雨時の状況  
白馬村:松川上流域



流出土砂を捕捉した砂防堰堤  
平成29年豪雨後の状況  
白馬村:松川上流域



洪水氾濫等の被害なし  
平成29年豪雨後の状況  
白馬村:松川下流域(森上地区)

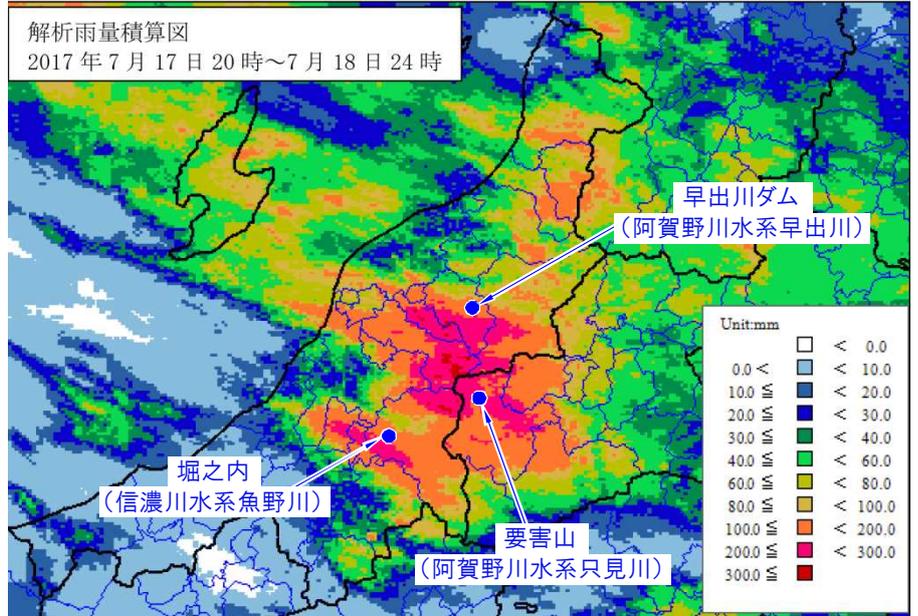
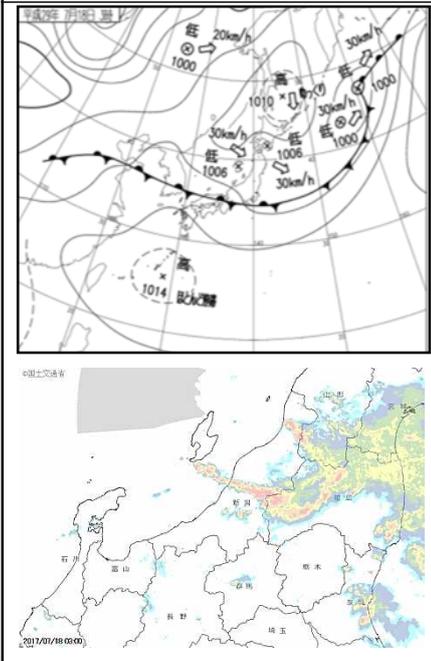
(2) 平成29年7月17日～7月18日  
の大雨

# 1. 気象概要

7月17日から7月18日にかけて、寒気を伴った気圧の谷や西からの湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。このため、新潟県の下越、中越、佐渡では非常に激しい雨が降り、解析雨量では、7月17日20時から7月18日24時までの総雨量は、多いところで約300mmの雨を解析した。

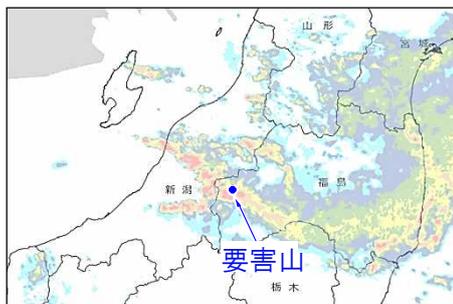
このため、阿賀野川水系只見川の福島県南会津郡の要害山で約380mm、阿賀野川水系早出川の新潟県五泉市の早出川ダムで約194mm、信濃川水系魚野川の新潟県魚沼市の堀之内で約238mmの降雨を観測した。

大雨発生時の天気図、レーダー画像  
(7月18日3時)

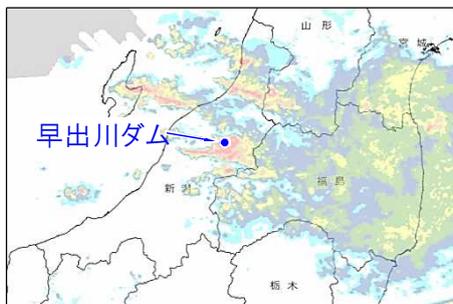


H29年7月17日20時～7月18日24時のアメダス総降水量分布図

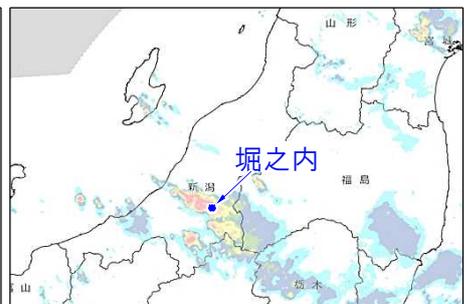
レーダー画像



7月18日5時

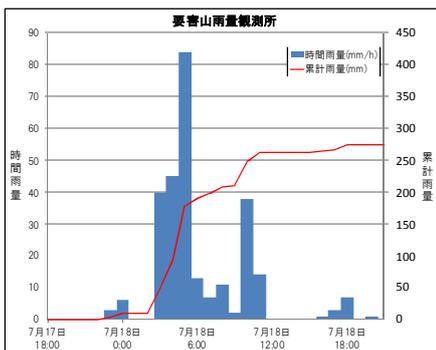


7月18日8時

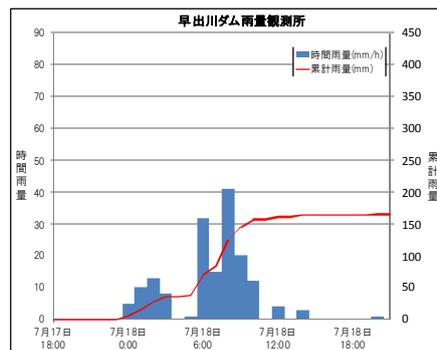


7月18日13時

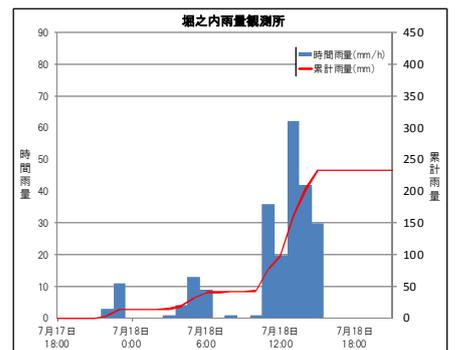
累計雨量グラフ(7月17日～7月18日)



要害山雨量観測所  
(阿賀野川水系只見川)



早出川ダム雨量観測所  
(阿賀野川水系早出川)



堀之内雨量観測所  
(信濃川水系魚野川)



## 新潟県管理河川における応急復旧の状況

○新潟県では、阿賀野川水系常浪川ではん濫危険水位を超過した他、堤防決壊等による浸水被害や施設被害が生じました。

### 信濃川水系三用川における復旧状況

- 新潟県魚沼市にある信濃川水系三用川(県管理河川)は、平成29年7月18日、大雨による増水により、十日町地内の左岸堤防が約80mにわたり決壊し氾濫が発生。これにより、周辺約100haが浸水し、国道17号の通行止め、家屋・事業所あわせて20戸程度が被害
- 北陸地方整備局では、県の応急復旧を支援することとし、根固めブロック(備蓄用資材4t/個、51個)を提供、照明車(1台)を派遣
- 応急復旧は被災後直ちに着手され、19日8時に対応完了



周辺の浸水状況(7月18日撮影)



堤防決壊状況(7月18日、左岸側より撮影)



国道17号の浸水状況(7月18日撮影)



応急復旧対応状況(7月18日夜)



応急復旧対応完了(7月19日)

※写真の一部は新潟県より提供

はやでがわ 早出川の河川改修（捷水路の整備）により水位を低減  
 しょうすいる （新潟県 阿賀野川水系 早出川）

- 今回の洪水では、五泉市善願水位・流量観測所で約1,300m<sup>3</sup>/sの流量を記録し、はん濫危険水位を超える洪水でした。
- 阿賀野川河川事務所では、早出川の流下能力の向上、水衝部の解消及び蛇行部の整正を図るため、早出川捷水路事業（平成元年度着工、平成6年より通水開始、平成11年度竣工。）を実施しました。善願水位・流量観測所地点で約0.7mの水位（計算値）を低下させる効果を発揮しました。

－ 今回の洪水における事業効果（捷水路事業） －

河川の水位【善願水位・流量観測所（阿賀野川合流点から4.6k付近）】

捷水路事業が行われなかった場合、計画高水位に迫る水位になったと思われる。



－ 早出川捷水路事業 －

【事業概要】

早出川は、大雨になるとすぐに出水するという特徴を持っています。特に五泉市街地付近で大きく蛇行し、川幅が狭くなっていたために一帯は何度も大きな被害に見舞われていました。そこで、幅200m、延長2,000mの捷水路開削を実施し、川幅は旧川の2倍となり、平成12年3月に完成しました。

【実施箇所】



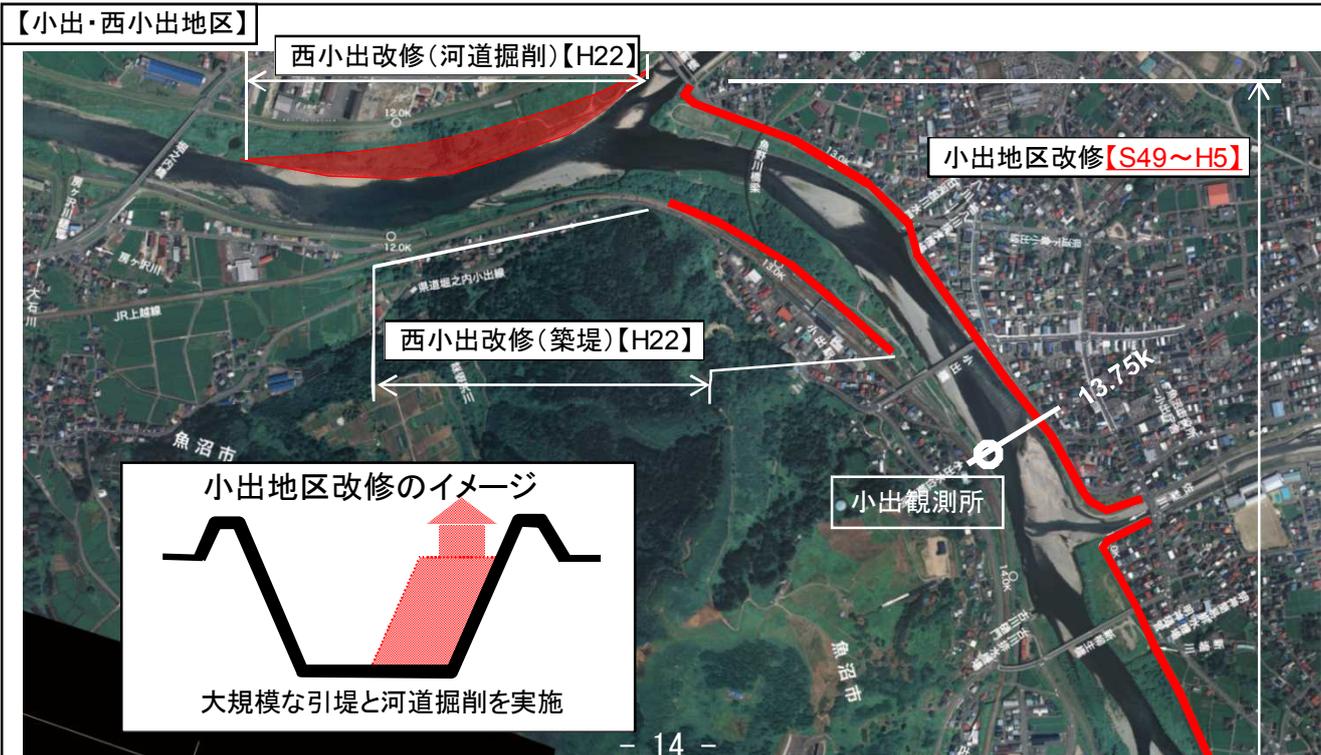
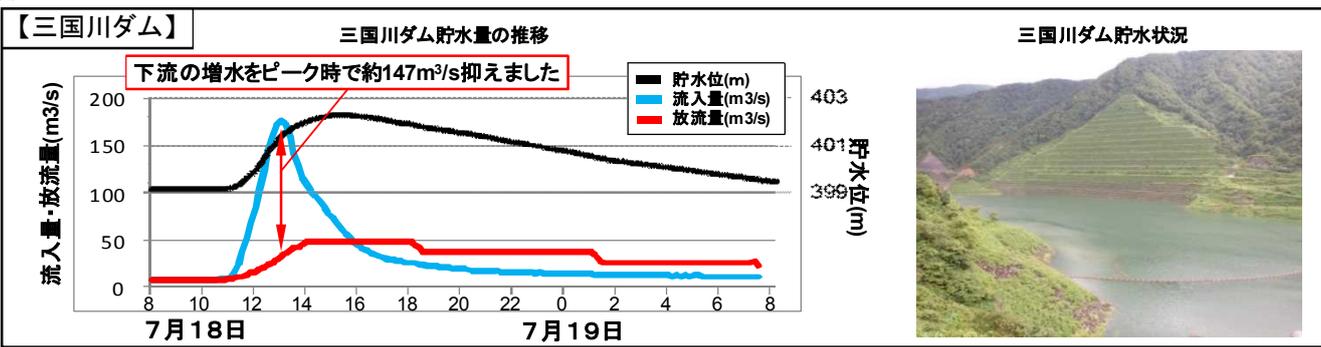
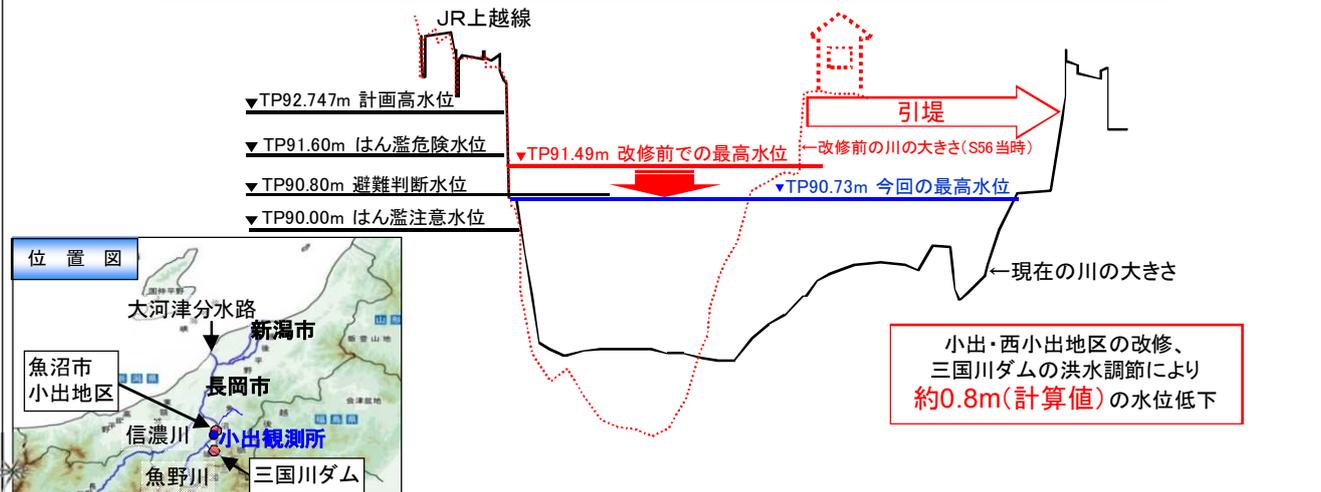
# 小出・西小出地区の河川改修、三国川ダムの洪水調節により水位を低減 (新潟県 信濃川水系魚野川)

○ 小出地区の引堤、西小出地区の河道掘削の実施及び三国川ダムの洪水調節により、今回の洪水では、魚野川の小出水位観測所地点(13.75km付近)において約0.8m(計算値)の水位低減効果があり、避難の目安となる避難判断水位を超過しませんでした。

## － 今回の洪水における事業効果(引堤と河道掘削) －

### 河川の水位【小出水位観測所(信濃川合流点から13.75k)】

河川改修及び洪水調節がない場合、避難判断水位を超過したと考えられる。それらの効果により、避難判断水位を超過しなかった。



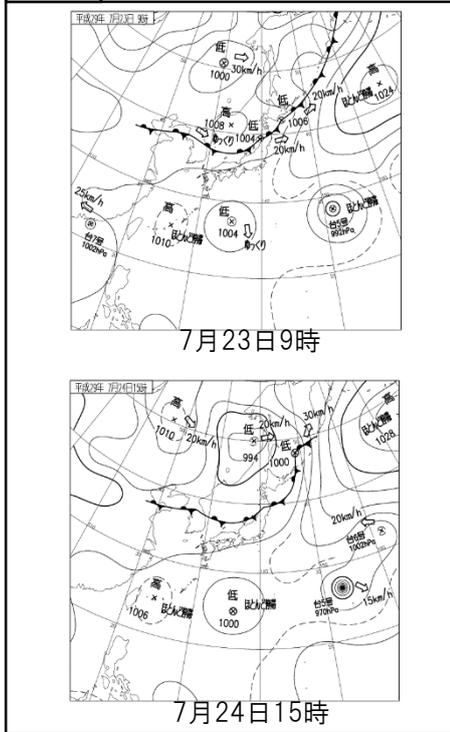
(3) 平成29年7月23日～7月25日  
の大雨

# 1. 気象概要

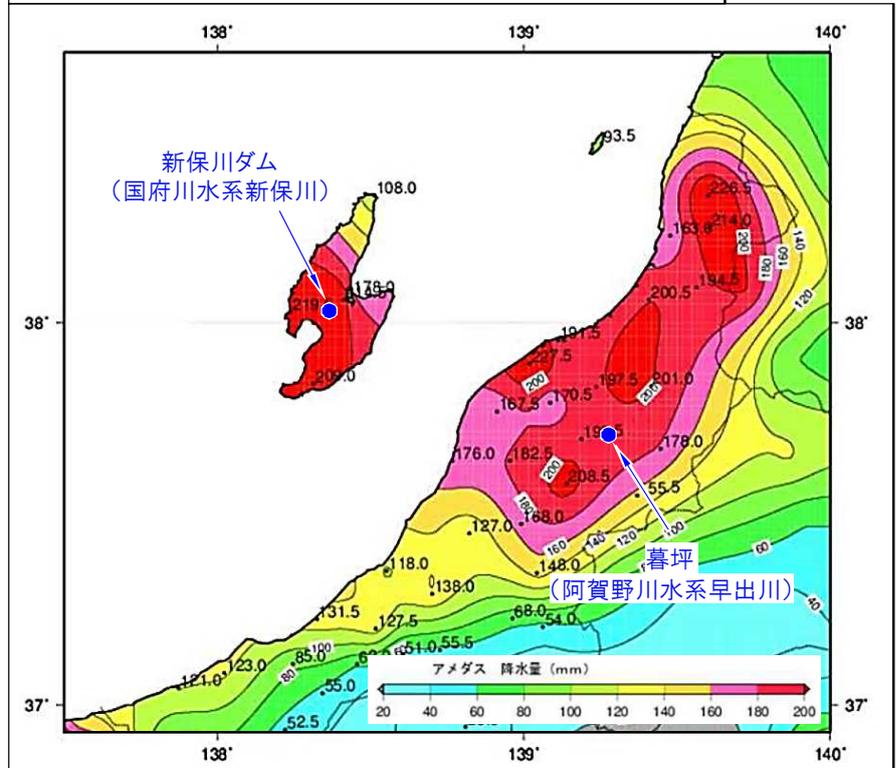
7月23日から7月25日にかけて、梅雨前線が北陸地方から東北地方南部に停滞し、この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。

このため、新潟県では7月23日の未明から雨が降り出し、その後明け方からは激しい雨となり、阿賀野川水系早出川の新潟県五泉市の暮坪で約188mm、国府川水系新保川の新潟県佐渡市の新保川ダムで約278mmの降雨を観測した。

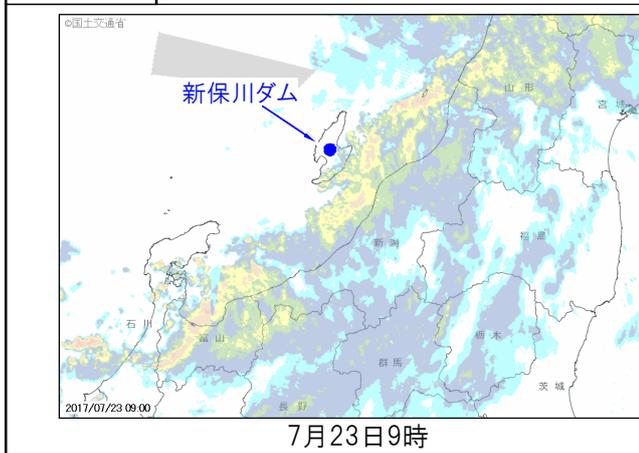
天気図



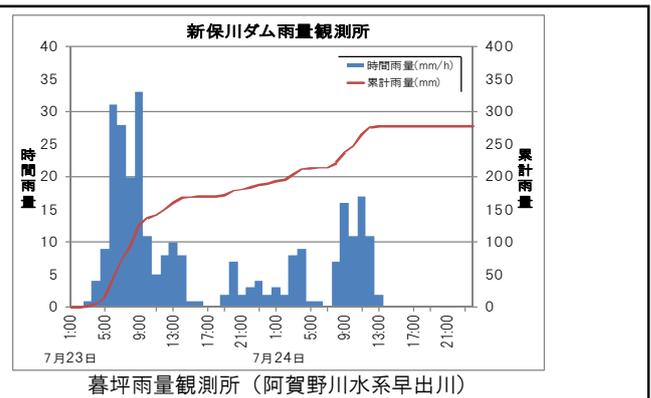
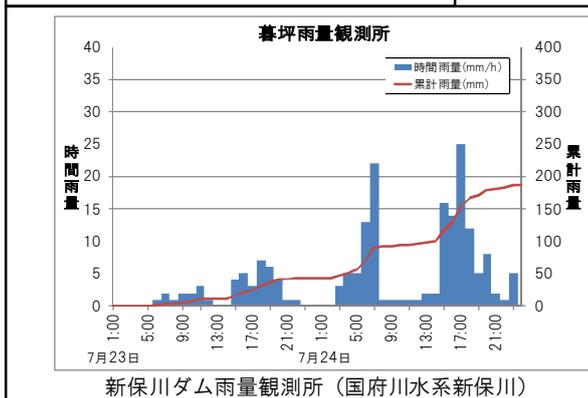
アメダス総降水量分布図（平成29年7月23日0時から7月25日24時まで）



レーダー画像



累計雨量グラフ(7月23日1時~7月25日0時)



## 2. 出水概要

北陸地方整備局管内の国管理河川において、3水系4河川ではん濫注意水位を超過したほか4水系4河川で水防団待機水位を超える出水となった。また、新潟県佐渡市内において堤防決壊等による浸水被害や施設被害が生じた。

### ■ 国管理河川の出水状況

水系名	河川名	観測所名	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位 (特別警報)	はん濫危険水位	計画高水位	ピーク水位	ピーク日時
あらかわ川	荒川	かみかさ上関	3.60	4.30	6.60	7.40	8.30	4.13	24日 8:10
		つづらやま蒼龍山	3.00	3.70	6.40	9.60	7.80	3.43	24日 9:20
あがのがや阿賀野川	阿賀野川	まがし馬下	19.65	20.15	22.00	22.80	24.40	19.92	24日 21:40
		満願寺	5.80	6.50	8.00	9.00	10.02	6.92	24日 23:10
		早出川	善願	12.80	14.00	14.50	15.10	16.13	14.13
しなのがや信濃川	信濃川下流	おまき尾崎	8.20	8.70	9.10	10.20	13.20	8.51	25日 1:50
		あらか荒町	8.00	8.50	-	-	12.25	8.47	25日 1:40
		ほみやん保明新田	5.20	5.60	6.50	8.20	9.60	6.44	25日 2:00
		うすいばし白井橋	3.10	3.40	-	-	7.08	4.12	25日 3:10
		しほや新酒屋	2.50	2.80	-	-	5.84	2.90	25日 3:10
あがのがや姫川	姫川	山本	-0.27	0.51	1.92	2.28	4.91	0.15	26日 3:00
あがのがや小矢部川	小矢部川	いずみ石動	1.70	2.50	4.80	5.30	5.80	2.16	25日 23:50
		ながえ長江	5.00	5.80	6.90	7.30	9.13	6.05	26日 1:30
		しほや浪江川	3.20	3.70	4.40	4.80	4.97	3.47	25日 8:50
あがのがや梯川	梯川	埴田	2.00	2.50	3.60	4.20	5.24	2.44	25日 13:10



### □ 新潟県管理河川の被害状況



# 新潟県管理河川における応急復旧の状況

○新潟県では、はん濫危険水位を超過した河川はありませんでしたが、佐渡市内において堤防決壊等による浸水被害や施設被害が生じました。

## 国府川水系小倉川における復旧状況

佐渡市にある2級河川小倉川は、7月24日、大雨による増水により、飯持地内の左岸堤防が約60mにわたり決壊し氾濫が発生しました。これにより、周辺の水田で約3haが冠水しました。  
 また、下流の畑野地内では右岸堤防が約30mにわたり洗堀を受け、危険な状態となりました。これに伴い、畑野下畑地区と畑野寺田地区の115世帯290名に避難指示が発令されました。  
 新潟県では速やかに応急復旧工事に着手することとし、昼夜を通して行われ畑野地内は25日8時に、飯持地内は25日12時に応急復旧工事が完了しました。



【飯持地内】



右)周辺の浸水状況 (7月24日撮影)



堤防決壊状況 (7月24日撮影)



応急復旧対応完了 (7月25日撮影)



堤防洗堀状況 (7月24日撮影)

## 【畑野地内】



応急復旧対応完了 (7月25日撮影)



応急復旧対応完了 (7月25日撮影)

## 小川内川水系小川内川における堤防被害

同じく7月24日、2級河川小川内川では豊田地内の左岸堤防が約30mにわたり決壊し氾濫が発生しました。これにより、周辺の水田で約2haが冠水しました。  
 新潟県では速やかに応急復旧工事に着手することとし、24日21時に応急復旧工事が完了しました。



堤防決壊状況 (7月24日撮影)



応急復旧対応完了 (7月24日)

※写真は新潟県より提供

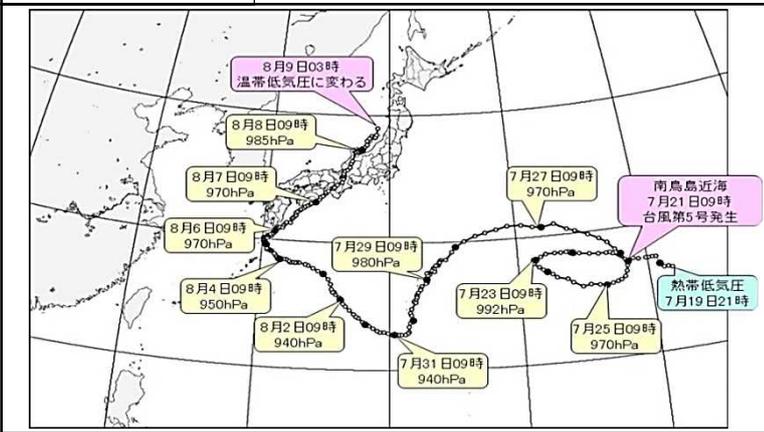
(4) 平成29年8月7～8月9日  
台風5号による大雨

# 1. 気象概要

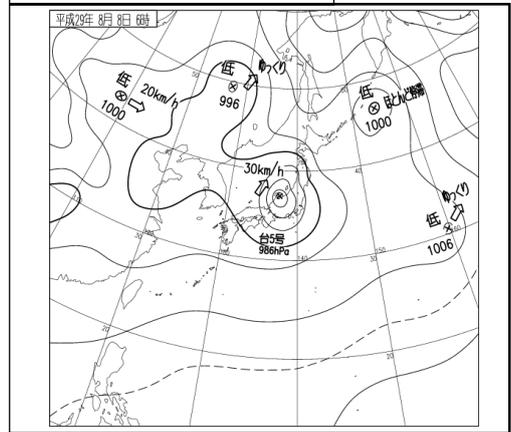
7月21日9時に南鳥島近海で発生した台風第5号は、6日に九州に接近、7日15時頃に和歌山県北部に上陸した後も移動速度は非常にゆっくりであったため影響を受ける時間が長くなり、北陸では石川県・富山県を中心に大雨になった。また、石川県加賀地方では8月の月降水量の平年値を上回った。

石川県では、8日の午前中を中心に激しい雨が降り、梯川水系郷谷川の石川県小松市の尾小屋で約258mm、梯川水系鍋谷川の石川県能美市の鍋谷で約199mm、手取川水系手取川の石川県白山市の手取川ダムで約303mmの降雨を観測した。

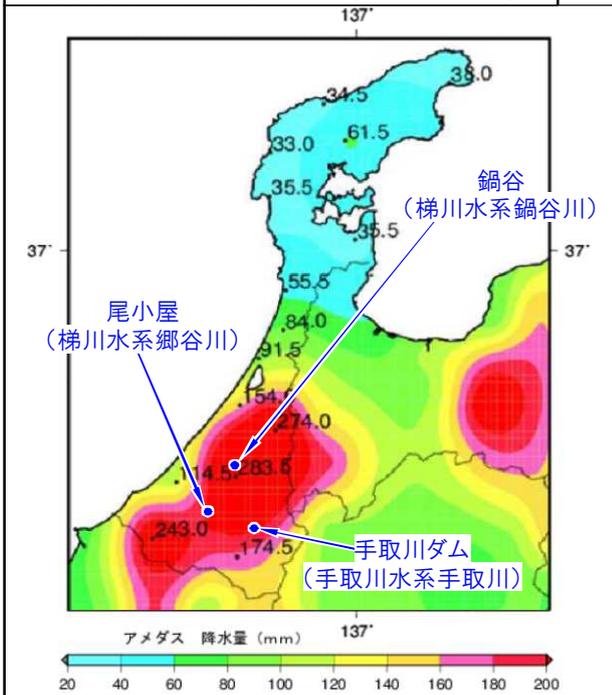
台風5号経路図



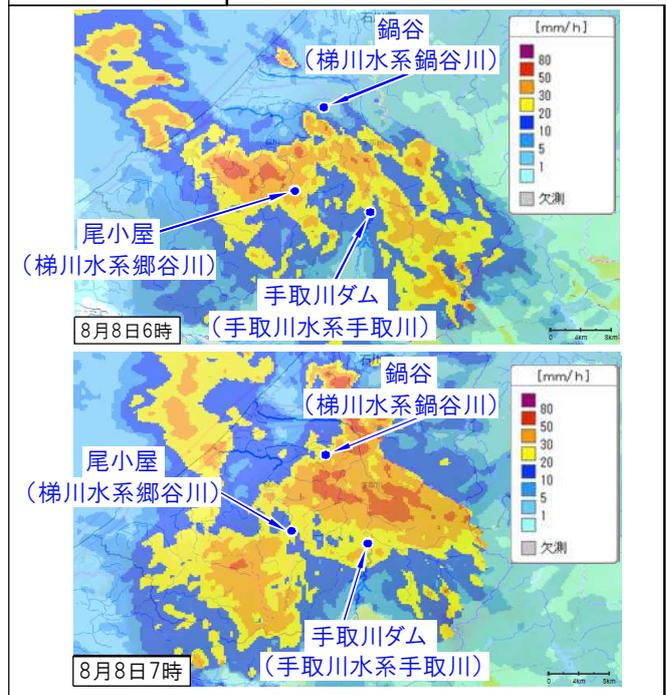
天気図(8月8日6時)



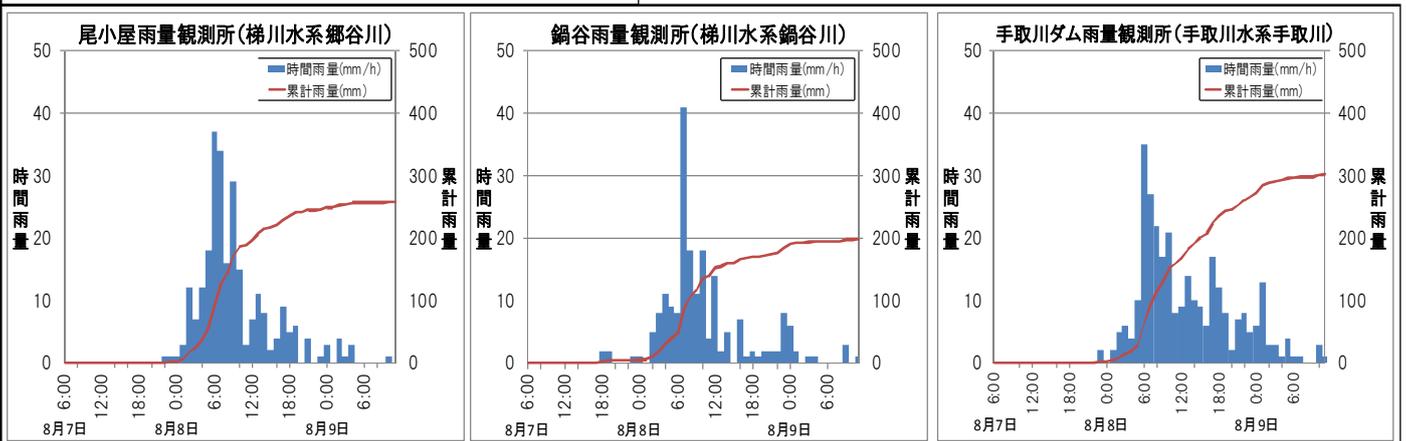
積算降水量(8月7日6時~9日11時)



レーダー画像



累計雨量グラフ(8月7日6時~8月9日11時)



## 2. 出水概要

北陸地方整備局管内の国管理河川において、1水系1河川ではん濫危険水位を超過、3水系3河川ではん濫注意水位を超過したほか、3水系3河川で水防団待機水位を超える出水となった。

### ■ 国管理河川の出水状況

水系名	河川名	観測所名	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位 (特別警戒)	はん濫危険水位	計画高水位	ピーク水位	ピーク日時
ひめかわ	姫川	やまもと山本	-0.27	0.51	1.92	2.28	4.91	0.64	9日 4:50
じょうがんじがわ	常願寺川	だいせんじ大川寺	4.20	5.10	5.24	6.61	9.82	4.40	8日 18:40
じんづうがわ	神通川	くまのがわ熊野橋	2.00	2.60	3.30	3.90	4.41	2.53	9日 0:40
しょうがわ	庄川	だいまん大門	5.00	5.50	7.40	7.70	9.81	5.04	8日 15:50
おやべがわ	小矢部川	つぎわ津沢	4.70	5.20	6.20	6.60	7.77	4.86	8日 13:00
		いずるぎ石動	1.70	2.50	4.80	5.30	5.80	2.68	8日 14:00
		ながえ長江	5.00	5.80	6.90	7.30	9.13	6.02	8日 16:00
てどりがわ	手取川	つるぎ鶴来	0.90	1.40	2.30	3.00	7.40	1.55	8日 12:10
かけはしがわ	梯川	はねだ埴田	2.00	2.50	3.60	4.20	5.24	4.56	8日 11:00
		まき牧	1.30	1.80	-	-	4.14	2.19	8日 12:00



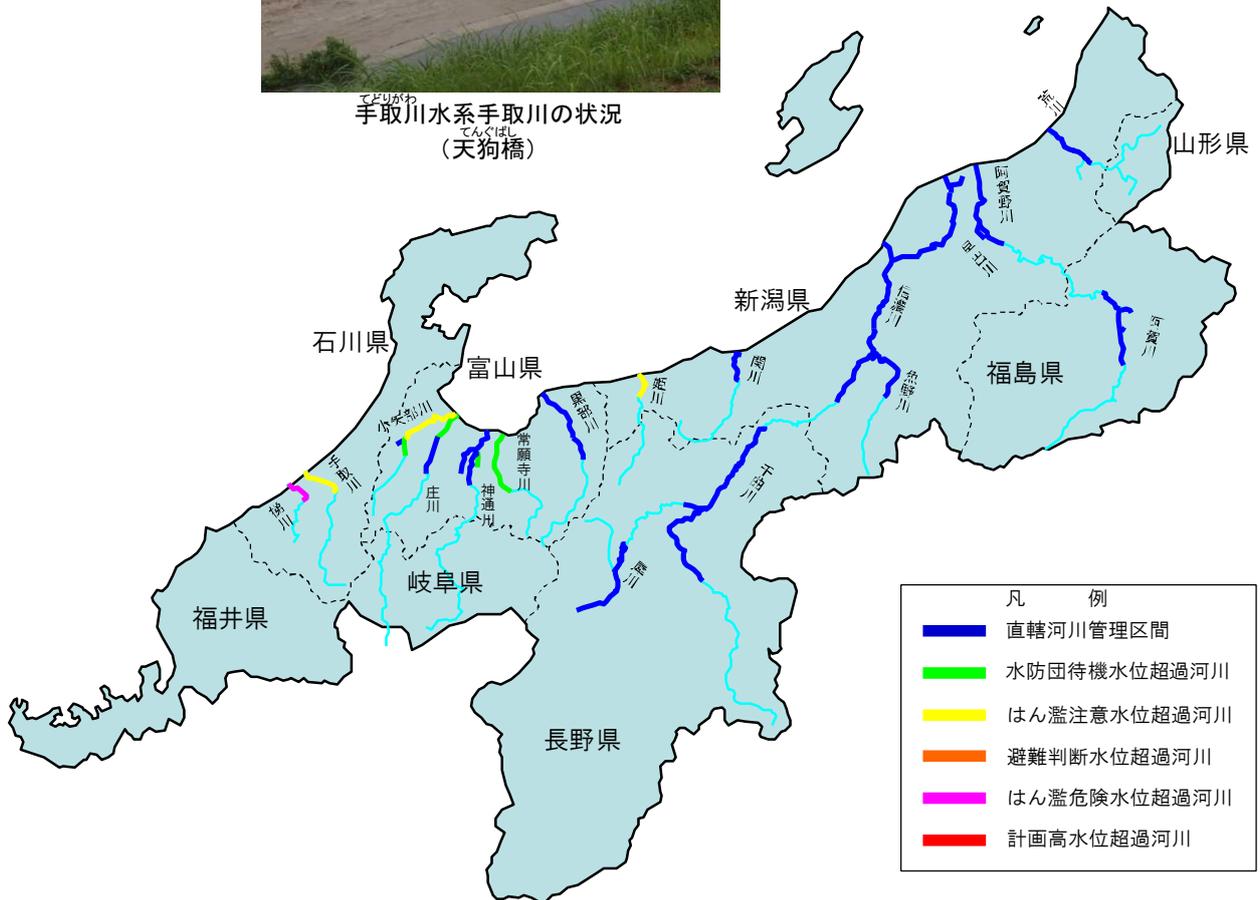
かけはしがわ  
梯川水系梯川の状況  
(埴田水位・流量観測所)



手取川水系手取川 右岸14.2  
石川県白山市大国町 鶴来観測所



てどりがわ  
手取川水系手取川の状況  
(天狗橋)



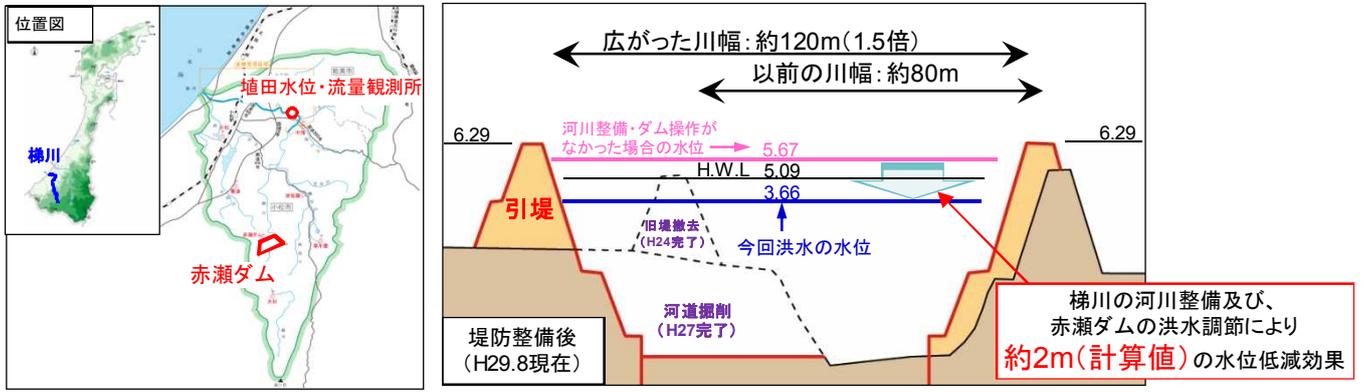
# 梯川の河川整備、赤瀬ダムの洪水調節により水位を低減 (石川県 梯川水系梯川)

○ 梯川の河川整備及び赤瀬ダムの洪水調節により、今回の洪水では、河口から5.4kmにおいて約2.0m(計算値)の水位低減効果があり、堤防越水等による氾濫被害を防ぎました。

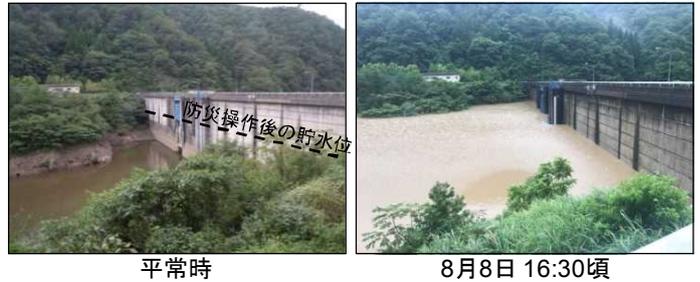
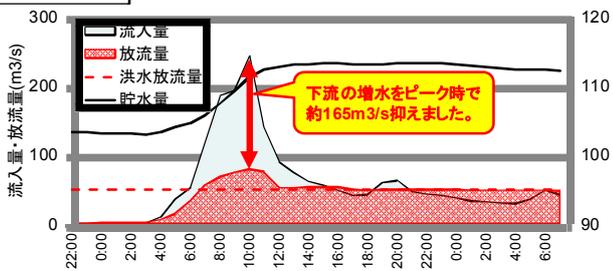
## － 今回の洪水における事業効果 －

河川の水位【河口から5.4km】

河川整備及び洪水調節がない場合、計画高水位を超え堤防を越水し氾濫していた可能性がある。



### 【赤瀬ダム】



### 梯川の河川改修

- ・梯川では、河口から上流にむけて順に川幅を広げる引堤事業等を鋭意進めてきており、平成29年11月には小松天満宮の分水路が完了する予定です。
- ・今回の洪水は、埴田水位・流量観測所において氾濫危険水位を超え4.56m(観測史上5位)を観測しましたが、これまでの引堤事業等により、水位低減の効果が発揮したと推定されます。



てどりがわ  
**手取川ダムにより下流河川の水位を低減（石川県 手取川水系手取川）**  
 てどりがわ てどりがわ

- 手取川ダムでは8月8日9時40分に最大流入量約640m<sup>3</sup>/sを観測し、約520m<sup>3</sup>/sの水量をダムに貯め込みました。
- この操作により、下流の鶴来地点（14.0km地点）では、河川の水位を約0.6m低減させ、手取川ダム下流の洪水被害の危険性を軽減しました。



防災操作前後の手取川ダム



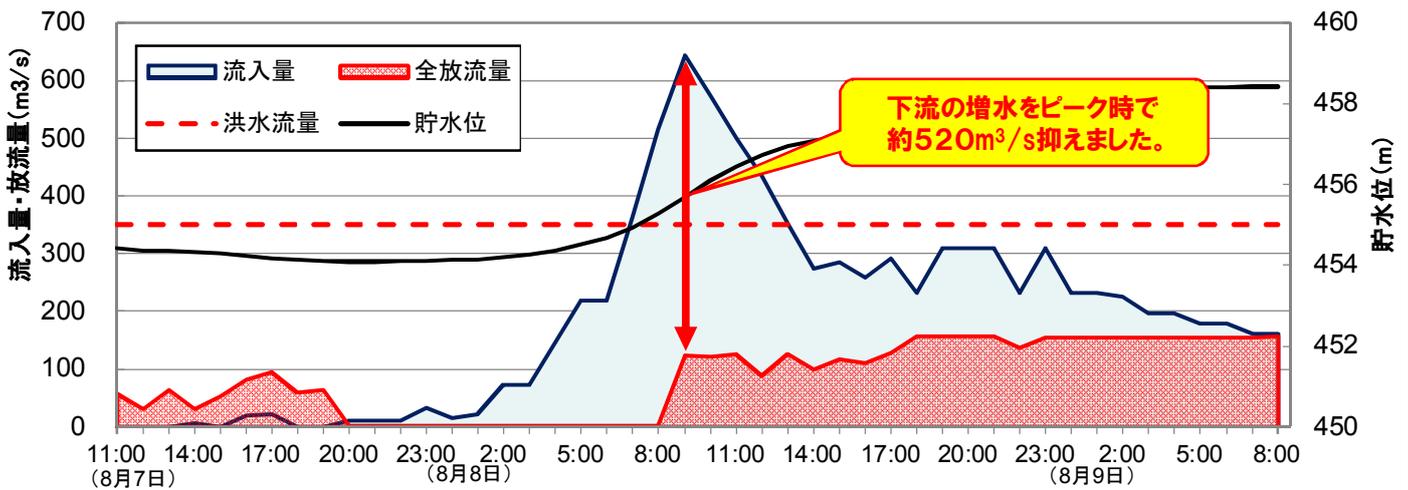
平常時



ダムに貯めた水量  
約9,440千m<sup>3</sup>

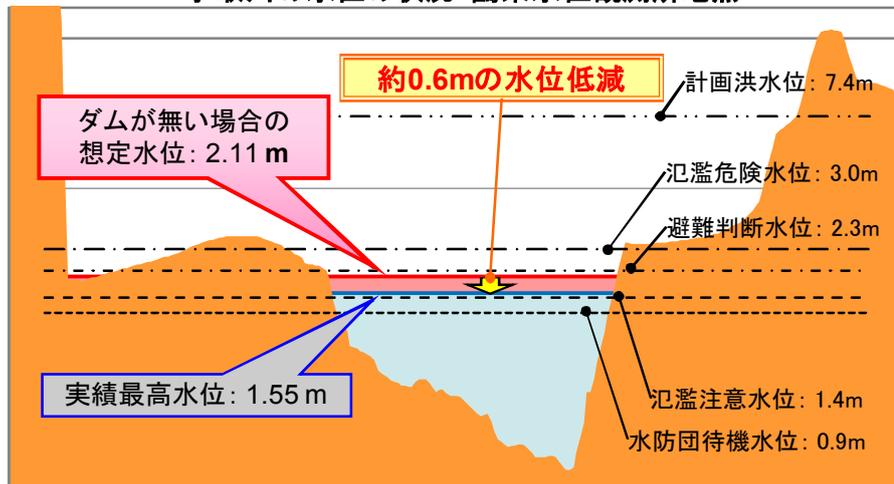
8月8日 14:45頃

【手取川ダムの状況】



【鶴来地先での水位低減効果（推定）（河口から14.0km地点）】

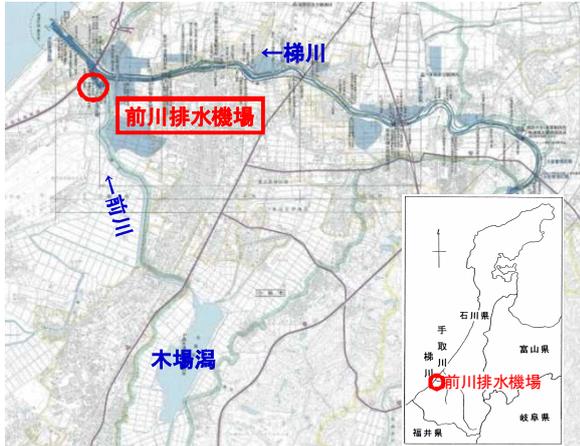
手取川の水位の状況 鶴来水位観測所地点



【鶴来水位観測所】 8月8日 12:00頃

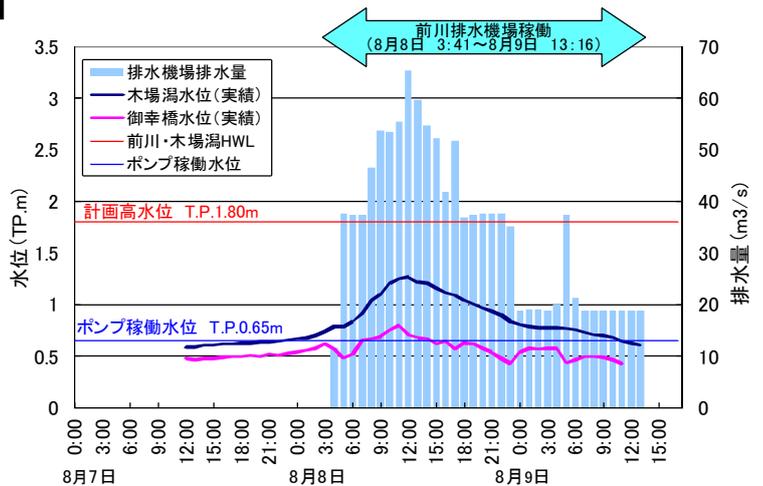
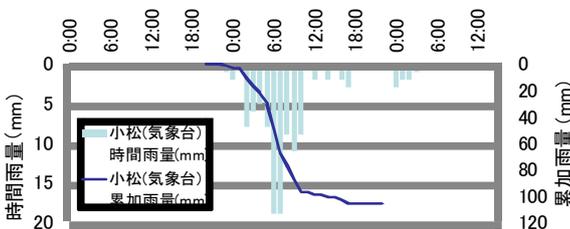
# 前川排水機場の稼働により浸水被害を防止(石川県 梯川水系梯川)

- 前川並びに木場潟の自然排水が困難となったため、前川排水機場(最大能力62m<sup>3</sup>/s)の運転を実施しました。
- 今回洪水における総排水量は約420万m<sup>3</sup>であり、これは木場潟の水を3回分入れ替えたことになります。
- 今回洪水では浸水面積ゼロでしたが、もし前川排水機場が存在しなかった場合には、木場潟周辺一帯で浸水被害(浸水面積690ha)が発生したものと推定されます。



## 【8月8日 前川排水機場の運転状況】

運転時間	
8月8日 3:41 ~ 8月9日 13:16	33時間35分
総排水量	備考
4,200 × 10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	※運転日報による



## 【前川排水機場の効果】

今回洪水における  
総排水量420万m<sup>3</sup>の量を例えると

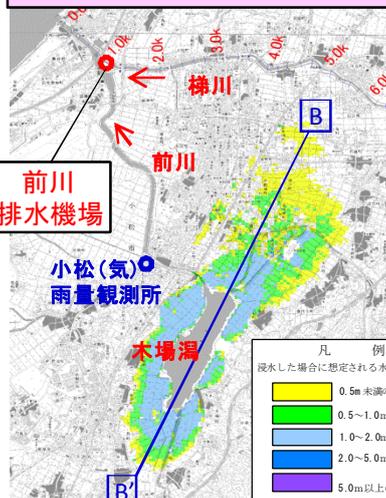
②こまつドーム  
: 約7個分  
※58.9万m<sup>3</sup>/施設



③木場潟  
: 約3杯分  
※有効貯水容量  
130万m<sup>3</sup>



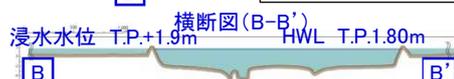
### 前川排水機場が存在しなかった場合の浸水想定被害



(推定値)

浸水想定面積	690 ha
被害総額	412 億円
被災人口	4,913 人
床下浸水世帯	965 戸
床上浸水世帯	839 戸

浸水被害なし

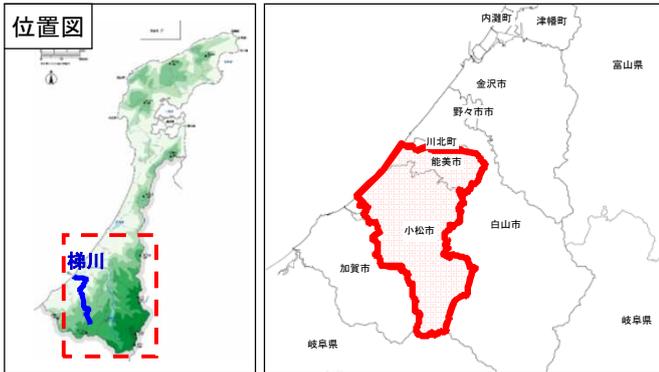


# 北陸初の緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施

- 氾濫危険水位を超過した梯川では、4,954世帯、13,745人に避難勧告等が発令されました。
- 梯川の埴田水位・流量観測所(小松市)では、8日9時50分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位(レベル4)」に到達したことから、洪水の危険性を迅速に情報提供するため、洪水情報を梯川流域の小松市、能美市におられる住民の携帯電話へ緊急速報メールを活用したプッシュ型配信を10時30分に北陸地方整備局管内で初めて実施しました。

## 緊急速報メールを活用したプッシュ型配信

今回配信したエリア(小松市、能美市) ▼



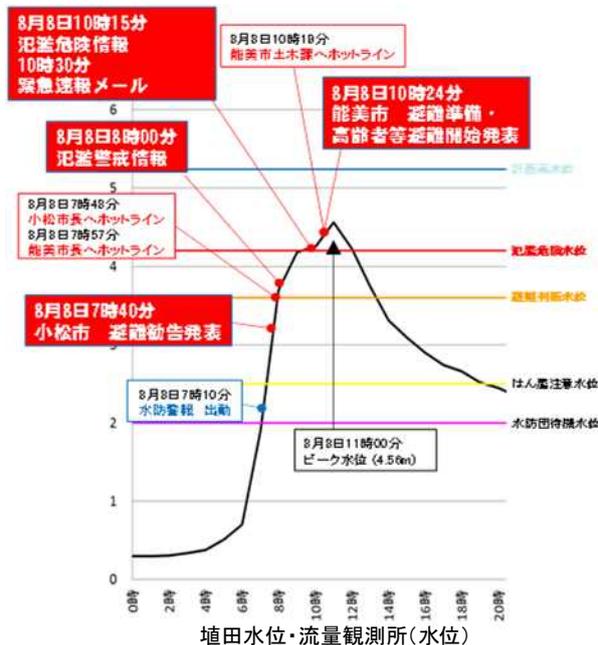
今回配信された緊急速報メール ▼



※ 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。  
 ※ 「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

## 梯川沿川市町村の避難勧告等の状況

発令地区	避難準備 高齢者等避難 開始発令	避難勧告発令	対象世帯数	対象人数	避難勧告 避難準備解除
小松市	7日17時00分	8日7時40分	21町 4,741世帯	13,059人	8日13時00分
能美市	8日10時24分	-	2町 213世帯	686人	8日15時14分



# 国土交通省「川の防災情報」

身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。



パソコンから：<http://www.river.go.jp/>  
スマートフォンから：<http://www.river.go.jp/s/>



QRコードはこちら



【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川計画課  
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1  
TEL 025-280-8880(代)